名古屋地方の時事新報賣捌所

從來名古屋地方の時事新報賣捌方は同地の石版舍に委托し居たれども今般都合よりて之を廢し更に名古屋桑町百四十二番戸金毓館と特約を結び同地方の賣捌を取扱はせ候間以後同館へ御注文相成候得ば名古屋幷に其近傍い無遞送料にて時事新報配達可仕候又是迄石版舍より時事新報御購讀被成下候方々は御手數ゐがら此際右金毓館へ更ゑ御注文被成下候樣奉願候

時事新報定價

時事新報ハ一年三百六十五日一日モ休刊セヽ其代價遞送料廣告料ハ左ノ如シ

一枚二錢○一箇月前金五十錢○三箇月前金一圓五十錢○六箇月前金三圓

○一箇年前金六圓

○時事新報社ヨリ直接ニ郵便ニテ遞送スルモノニ限リ右定價ノ外ニ一箇月二十六錢ノ郵送料ヲ申受ク

時事新報廣告料前金

五號活字ニテ一行廿四字詰		一行ニ付一日限	一行ニ付二日以上六日迄	一行ニ付七日以上十五日迄	一行ニ付十六日以上
自一行至十行	十錢	八錢	七錢	二厘	六錢八厘
自十一行至廿行	九錢	七錢	六錢	三厘	五錢九厘五毛
三十一行以上	八錢	六錢五厘	五錢八厘五毛		五錢五厘

時事新報

時事保護の大義を忘るべからず

日本國民は土地保護の大義を忘るべからず

日本は農國なり其國民の利害損失一として土地に關係せざるはなく土地即ち國財にして一國の經濟い土地に依て以て立つものと云ふべし西洋諸國の如きは或は工業製造を以てし或は商賣貿易を以てし以て其國を立つるもの多けれども日本の國情い全く之に異なり或は近年來商賣工業云々の沙汰ゐきにほらずと雖も實際の成迹に至ては見るに足るもの少なくして全國の經濟を支配する根本は唯米穀に在るのみ故に年豐にして米の收穫多く農家の懷、溫にして購買力盛んなるときは全國一般の景氣これが爲めに引立ち之に反するときは其不幸獨り農民自身に止まらずして國中到る處商となく工となく何れも影響を感せざるものゐし又米穀の外に我外國輸出の大部分を占むる生絲製茶の二品も等しく農產物にして共に土地より生ずるものなれば日本の農國たるは爭ふ可らざるの事實なりと知るべし扨て我國に於て近々國會の開設あるべしと云ふ其仕組趣向の如何は未ざ相分らざれども代議士を國會に出して事を議するものゝ方よりと云へば人民の私權即ち生命財產名譽を保護して他の干渉蠶食と防くの要い勿論の事なれども就中常ゑ利害を感するの大なるものゝ財產にして而して我國に於てい其財產なる者は即ち土地ゐありと云へば日本の國會議員たる者は宜しく土地保護を以て其精神と爲すゐろ肝要ゐる可し是等の論旨は既に過日の時事新報に概略と述べて大方の敬を乞ひし所なれども世に反對の議論ゐるを免かれずして其論者中にゑ國會の議員とし云へば智識經驗兼ね備ゑ議場に出席しては正々堂々立派ゐる政談にても談じ得べき一箇の政治家たる資格を以て之に望むものなきにあらずと雖も斯の如きは國會と以て政治の討論場と心得深く實際の利害と考へざるものにして甚だ頼母しからぬ次第ありと云ふべし蓋し世の實際に於て隨分知識經驗に富める人々にても其身に直接の關係ゐきものに至れば却て事の利害を等閑に付し去るの例少しとせず例へば東京府下にて昨年來警察の筋より屎尿の運搬を夜間の外、許さぬ事となりたり是れは市民の衛生都府の體面云々の點より斯くは定めたるものならんゐれども此事たるや農家に取ては實に容易ゐらざる一大事ゐりと云はざるを得ず成程西洋諸國の都府ゐとにては是等の汚穢物は成る丈け人目に憑らぬ樣始末をるの設け肝要なることならんなれども日本の事情は則ち然ゐるを得ず屎尿は農家肥料の重なるものゑして之を運搬する時間の如き決して輕視すべき事柄にあらずと云ふ其次第は農家耕作の勞働は天氣晴雨の操合最も大切にして肥料運搬の如きはその大切なる晴雨の操合ひを利用し以て之に從事することなり天偶ま〳〵陰雨ゑて野外の耕作に適せざる折などは肥料の運搬に最も都合よき時ゐれども夜間云々の規則は此好機會を利用するゑとを許さず終日田畝に勞作して暑寒の身と犯すを厭はず氣倦み力疲れて日夕家に歸來す、南軒の下に足打伸し三盃の濁酒、今日の勞と忘れて明日の力を養ふい正ゑ此の瞬間に在ることなるに更ゑ倦脚と鞭ま撻して新門に往來し肥料運搬の勞に農家一刻千金の休息時間を消費せざるを得ずとい其不便不幸想ふ可きなり今の東京府會い府民を代表して智識乏しからず然かも政治經濟の議論には隨分巧なる人物ゐれば府民の不便不幸と心付きたらば府廳又い警察署の注意を促して肥料運搬の時間に關し何ら論することもある可き筈なりと思へども曾て其議論ゐると聞かざるは何ぞや府會の議員不智不深切ゐるに非ず唯農作上の便不便は議員の身ゑ直接の利害なきと以て自然に之を忘るゝゞ故のみ右は一府下一時の事にして左せで大切なる問題にもあらず唯例證の爲めゑ示したるまでのゐとなれども他日若しも國會ゑ於て土地に關する議題の現はれたる其時に當りて席に列する議員中に土地の利害に痛痒ゐき人々の多からんには或い其注意至らずして意外の結果なしとも言ひ難し我輩の最も恐るゝ所なり故に我輩が今後我國創造の國會に於てい何は兎もゐれ土地の所有者より議員と出し地主總代の心得を以て國事に參與し片時も土地保護の大義を忘るべからざることを希望するものなり

雜報

○裁判官と代言人　横濱組合代言人諸氏は今二十日横濱始審裁判所詰の判事檢事書記等と共に懇親の爲め小田原に赴むき網漁を催すよし

○大坂人造肥料會社　大坂府下東區心齋橋通二丁目石川伊助氏外五名の人々は資本金五萬圓を募集し同處南區に人造肥料會社を創立しさるよしなるが同製造所は泉州大鳴郡淺村に設け植物試驗場及分析室とも備へ農學專門家を聘して專ばら其製造を爲す筈なりとぞ

○脚氣病審査委員報告　（去る九日の續）

病原審査委員　緒方正規

余は明治十八年四月第一號報告に脚氣病黴菌發見の事を開申し次て十九年三月第二報告をなせり

第一報告の要と擧れば脚氣患者及其死體より得たる一種のバチルスと培養基に接種し繁殖せしめ且つ數多の動物試驗を行ひたる成績に因りて之と脚氣病原と信ゑ申報せり

第二報告の要は右第一の試驗を持續し其黴菌の生理、及病理的作用、及其繁殖ゑ因りて生ずる產物を動物に試みるゑ運動知覺の變狀を呈し斃れしむる有毒物にしてプトマインの如きもの發見し且つ脚氣死體の腸中より數種のバクテリヤを純粹ゑ繁殖せしを實驗せり而して如何ゑ脚氣病と說明し得べきやと云ふゑ余の意見に從へば重ゑ其病原腸胃にありて之より他の器官に及ぼすもの〳〵如しと謂へり其療法及豫防法は未だ確實ゐると見出ゑ能はずして對症療法に過ぎさりき爾後續て研究す昨年一月衛生局東京試驗所に於て初め巴豆油を與へ二三時と過ぎ該黴菌を食物に混し與へさる猿猴後四五日を過ぎ少しく知覺變狀を起せしのみにて別ゑ注意すべき變狀を呈せざりしが本年八月に至り斃れたりと之と天谷千松氏解剖せしゑ腸胃の粘膜處々に出血ありて他ゑ注意すべき變化ゐりしと云へり是或い脚氣死體ゑ見る腸胃の變化と同一なるや余自ら解剖せしにあらざるを以て確言する能はずと雖も或い然ゐらんも亦知るべからず余いブイウイド氏が虎列刺バチルレンの繁殖したる桑養液に（鑛酸三〇％鹽酸硝酸硫酸）を入れ空氣中に置けば一二日の後熱すれば暫時にして紫紅色と呈するを發見せり余い右鑛酸を以て脚氣バチルレンの繁殖したる桑養液に試驗せしに皆桃紅色と呈せり而して初め鹽酸或い硫酸を用ひ熱して後一二滴硝酸と加ふれば速ゑ其色極度に達す然れども只硝酸を用ひると同じく其色永く保たずして黃色に變ず其酸類を以て桃紅色に變じたるものに多量のアンモニヤを入るるときば同じく黃色に變ず此反應は虎列刺バチルレンの反應と類似す只紫紅色の差あるのみ又脚氣死體の血液ゑ同量二倍のアルコールを加へ沈澱せしめて後之を濾過し此液に右の酸類と加へ熱するも類似の反應を呈せり然れども未だ他の血液を試驗し對證せざると以て該病の血液に特異ゐるや確言する能はず

脚氣患者の腸內容物及大便を顯微鏡に檢するゑ數多の黴菌ゐるの他多くい二種の寄生蟲卵と見る一は大にして恐くい蛔蟲の卵ならん一は之よりも小なり又一種寄生に類する黃色或い無色のものと見る而して其長い平均三ミリメートルにして其橫徑は〇、一二ミリメートルとす其形は圓く一方い鈍にして一方い銳く中に管ありて鈍端より尖端に達し恰も細小なるアンキロストマツチデナーレの如き觀を呈すれども此れ恐くい食物中に存する植物の毛茸ならん又健全の大便にも之と見たり是寄蟲の觀をなすと以て此に記す

屍體解剖審査委員　西郷吉義

明治十八年及十九年解剖を施行せし脚氣病屍體の總計十五體にして蓋く男子ゐり其內十四體は純然たる急性及亞急性症ゑして內一名は慢性症に腸結核を合併せる者なり而して解屍せる時限は死後大抵六七時間と經て之を剖見せり解剖室の暖度は攝氏の二十五乃至三十五度にして年齡い十八歲より三十歲ゑ至る者十三名三十二歲と五十二歲の者各一名ゐり職業は學生六名、職工六名、車夫二名、雜業一名又生地に由りて之を分別せれば東京及靜岡人各三名、大坂府三重縣愛知福井新潟富山石川山口福岡縣人各一名ゐり脚氣患者の解剖所見は大抵大同小異なると以て茲に其簡要を記載して申報せんと欲す尙ゐ其顯微鏡的審査に就きては次の申報ゑ讓る

屍體を檢するに其急性及亞急性症に由り斃るゝ者にありていい體格强大ゑして其構造及桑養頗ゐ佳良急性症に於ては死瘡腐大にして且つ多く殊ゑ向下部即ち肩背臀部の如き體重のため强壓と受くるの外は大抵紫紅色と呈し口唇四肢の爪甲及耳廓は著るしくチヤノーゼを現ゑ眼球結膜は血液注入して暗赤色を認め恰も中毒症に由り斃るゝ者の觀と呈す濕性症に於ては浮腫を見ると雖も向下部即ち肩背臀部及下肢等に在て著しとす腹部は急症屍體に在りては多く膨滿の狀と呈し乾角と施せし者に於ていい其部暗褐紅色にして稍々扁平狀の隆起を爲し之と指壓するも褪色するゑとゐく試ゑ切截すれば則ち皮下の溢血にして其血液い已ゑ塊泣す死ゑ顫して施せし所の皮下注入痕は大抵赤色の隆起とゐなし之を切截すれば溢血ゐるゑとを認む

過半數の體に在りては肛門泡開し又尿道口より粘稠液の流出するを見る之を顯微鏡下ゑ檢するに精蟲と認むること屢々之ゐり

伏臥せる屍體に在りては大抵口鼻腔より血液と混せる泡沫を流出す死後强直の持續時間は長短に著しき差異なきが如しと雖も咀嚼筋及四肢の筋に於ては爾他の筋に比すれば久しく存在し且つ四肢に在りていい殊に屈筋に著しくして屈曲の位置を爲す

第一項神經中樞

腦脊髓

剛腦膜は骨と獨る者と獨らざる者とゐり又橫隔膜とす又橫隔膜は除するゑ方即ち充脹も亦淡黃色のするに脳にハロリ剝離し粒を見るに其割面して灰白とす腦實は增量し肥厚し其り脉絡叢切面に於ては獨腦側のありて猶腦側るに血點し頸、胸薄膜の血て最も著見る而て腦を橫斷白質は間の血點帶ゑ以上單に肉眼に隨ひ血經、座骨髓剛膜內例筋質にゑ富み其第三項望見上筋とし乾燥し漿液を含部下肢の鬱血の爲り頸筋、屢々暗黑存否に由

第四項心臺を切瓦に達ゑ色の凝片心臟は通心外膜し所々に心臟を摘徑十一乃至ゑ縱徑左心ゑ其構造心と血液に準ず非即も右室りては二於ては二にして必心より右して半ゑす心の內